

「第2回外国人児童生徒・グローバル教育 推進協議会」開催

宇都宮大学国際学部 教授 田 巻 松 雄
HANDS プロジェクト 研究代表

今年度2回目の「外国人児童生徒・グローバル教育推進協議会」が「多言語による高校進学ガイダンス」開催の翌日10月24日に開催されました。

主な審議・報告事項は、(1)「多言語による高校進学ガイダンス」(10月23日)報告(田巻)、(2)「外国につながる子どもフォーラム2011」協議、(3)「帰国後の外国人児童生徒の様子～ペルー視察～」報告(若林)、(4)進路調査中間報告(田巻)でした。

進学ガイダンスについては、昨年より参加者は減ったけれども、11月13日に真岡市で同様のガイダンス(HANDSプロジェクト・真岡市教育委員会共催)が予定されていることが影響していると思われること、外国につながる子どもとその保護者だけでなく、2市教育委員会・8小中学校教職員も見学に来場するなど、外国につながる子どもの進学問題への関心の高まりが感じられると報告がありました。

「外国につながる子どもフォーラム2011」の内容について検討し、3部構成にすることで意見がまとまりました。特筆すべきは、初めて宇大生がその一部を担うことになったことです。HANDSプロジェクトに対する宇大生の関心は大きく高まっています。例えば、昨年度、国際学部・教育学部の学生対象に「グローバル化と外国人児童生徒教育」という科目を新設しましたが、今年度の受講者は昨年度

比ではほぼ倍増しました。そのなかには、学生ボランティア派遣で外国人児童生徒を支援している学生や進学ガイダンスに協力してくれる学生もいます。そのような状況の中で、学生目線の取り組みをフォーラムに入れてみようという話になりました。どんなものが出てくるか、乞うご期待です。その他の二部は、進学ガイダンスと教員に役立つ手引書について話し合うものです。

「帰国後の外国人児童生徒の様子～ペルー視察～」報告では、9月にペルーのリマ市で日秘文化協会の主催で開催されたシンポジウムに若林・スエヨシ・田巻の3人が参加しましたが、その時の様子や見学した日系人学校のことなどが報告されました。シンポジウムで帰国した子どもたちが日本語とスペイン語で作文を読み上げる様子がスライドショーで映されましたが、そのスピーチや日系人学校の様子からは、親の都合によって移動を繰り返す子どもたちが受ける苦勞が垣間見え印象的であったと報告されました。

3月に実施した進路調査の中間報告では、中国人生徒(25人)の約半数が13歳以上で来日していること、ブラジルとペルーからの生徒は定住化傾向にあること、特別措置で受検した12人のうち9人が中国人であることなどが報告されました。進路調査のまとまった報告は、国際学部研究論集で発

表する予定であることもあわせて報告されました。

最後に、県教委の青木さんより、「かすたねっと」(外国につながるのある児童・生徒の学習を支援する情報検索サイト <http://www.casta-net.jp/>)と『外国人児童生徒の受け入れの手引き』(文部科学省初等中等教育局国際教育課)のご案内がありました。

二日続きの進学ガイダンスと協議会が無事に終

了し、正直ホッとしたというのが実感でした。以前にも書きましたが、進路調査に関して話し合った頃から、協議会が率直な意見を言い合う場としてホントに大事な役割を果たしているとの思いを強くしました。今回も貴重なご意見を伺えて有意義な会議となりました。関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

CASTA-NET ...

サイトトップ | このサイトについて | 利用規約

お知らせ
■ 平成23年3月30日
「かすたねっと」ホームページを公開しました。

「かすたねっと」は外国につながるのある児童・生徒の学習を支援する情報検索サイトです

このサイトは、文部科学省初等中等教育局国際教育課が運営しています。

文部科学省

関連リンク

海外子女教育、帰国・外国人児童生徒教育等に関するホームページ CLARINET (文部科学省)

CLARINET
海外子女教育、帰国・外国人児童生徒教育等に関するホームページ

全国で公開されている多言語の学校関係用語検索 (多言語・学校プロジェクト)

多言語の学校関係用語検索

ご意見・お問い合わせ | プライバシーポリシー | リンク・著作権について

文部科学省初等中等教育局 国際教育課 日本語指導係 電話番号: 03-5253-4111 (代表)
Copyright (C) Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

CASTA-NET is empowered by TOYOHASHI University of Technology

多様化する外国につながる子どもへの 効果的な支援について考える ～ 第2回「外国人児童生徒支援会議」報告 ～

国際学部特任准教授 若林 秀樹

11月10日に開催された、本年度第2回目の「外国人児童生徒支援会議」について報告します。今回は、年度末に刊行予定の『教員必携 外国につながる子どもの教育』続編の制作につながる具体的な協議が進められました。

協議に入る前に、二つの報告事項をおこないま

した。ひとつは「ペルーに帰国した子どもの教育事情」についての報告です。日本からペルーに帰国した子どもたちがどのような教育環境に置かれているか、9月にリマ市の日系人学校を視察した時の様子や、日秘文化協会での教育に関するシンポジウムでの発表について報告しました。もうひとつは10